

令和5年度 安全対策部活動報告

安全対策部

1. 今年度の安全対策部の活動

【高体連安全対策委員会】

- ・赤十字救急法救急員資格取得講習会

8月11・18～20日 3日間 9:00～17:00

- ・スポーツ医科学サポート事業

「機能的回復を目的としたスポーツ障害の予防について」

11月15日(水) 14:00～ 於: 県立スポーツ会館2F会議室

☆ 傷病見舞金(100円) 高体連 20日以上 治療60日 重症であれば支給される可能性が高い
9月と2月に支給される 少ない負担で大きな怪我はカバー可能

☞【例】入院40日 治療60日で10万円支給、60日以上で3万支給されたケースあり

2. 大会時における感染予防対策

- ・入場時の検温および手指消毒の徹底
- ・会場、更衣室、打ち合わせ会場等での消毒ボトル設置
- ・各試合場、役員席、本部席等に消毒ボトルを設置
- ・男女トイレ、人の動線に合わせた消毒ボトルの設置
- ・昼食時の個食、黙食、換気、使用場所の消毒実施

☆ 全日本剣道連盟(令和5年7月12日)

- ・選手・大会に参加する関係者は、発熱や咳、倦怠感等の特有症状を認めた場合は、出勤(通学)見合わせ・早退・医療機関の受診などの対応を速やかに行う。

感染対策用グッズを管理し、専門部の先生方のご協力のもと感染予防対策を実施
今後も全日本剣道連盟のガイドラインに沿って実施していく。

3. 大会時の安全対策

- ・全大会にドクター常駐

救急搬送するような事案はなく、無事に大会を終えることができた

会場内での足の怪我による出血→消毒

長時間の試合実施による熱中症 転倒による後頭部打撲

ドクターから聴診器が欲しいというケースもあった。

関東大会の本県開催に向けてさらに対策を考えたい。